



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月4日

上場会社名 ケイティケイ株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3035 URL <https://www.ktk.gr.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 英生
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 葛西 裕之 (TEL) 052-931-1881
 定時株主総会開催予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年10月25日
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月13日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の連結業績 (2023年8月21日～2024年8月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	18,109	2.8	383	6.1	488	4.7	345	11.3
2023年8月期	17,611	2.4	361	△10.6	466	△7.0	310	△1.6

(注) 包括利益 2024年8月期 409百万円 (13.0%) 2023年8月期 362百万円 (29.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	63.50	—	8.5	5.6	2.1
2023年8月期	57.26	—	8.3	5.5	2.1

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 ー百万円 2023年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	8,866	4,210	47.5	773.47
2023年8月期	8,452	3,876	45.9	714.20

(参考) 自己資本 2024年8月期 4,210百万円 2023年8月期 3,876百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	282	△143	△132	1,888
2023年8月期	405	△46	△345	1,882

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年8月期	—	7.50	—	7.50	15.00	81	26.2	2.2
2024年8月期	—	8.00	—	8.00	16.00	87	25.2	2.2
2025年8月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00		28.9	

3. 2025年8月期の連結業績予想 (2024年8月21日～2025年8月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	4.0	170	15.4	220	5.2	140	△12.4	25.71
通期	18,600	2.7	400	4.3	490	0.3	320	△7.3	58.78

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年8月期	5,725,000株	2023年8月期	5,725,000株
2024年8月期	281,313株	2023年8月期	297,866株
2024年8月期	5,438,169株	2023年8月期	5,416,804株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年8月期の個別業績 (2023年8月21日～2024年8月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	8,256	0.6	248	12.6	332	8.5	237	0.4
2023年8月期	8,207	△0.4	221	△23.7	306	△17.8	236	△7.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期	43.67	—
2023年8月期	43.68	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	5,260	3,156	60.0	579.76
2023年8月期	5,156	2,994	58.1	551.83

(参考) 自己資本 2024年8月期 3,156百万円 2023年8月期 2,994百万円

2. 2025年8月期の個別業績予想 (2024年8月21日～2025年8月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,150	0.3	212	4.0	153	0.4	28.10
通 期	8,300	0.5	335	0.8	240	1.0	44.08

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4頁「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14
4. その他	14
(役員の異動)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあって緩やかな回復がみられたものの、資源価格の高騰や物価の上昇基調など先行き不透明な事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループはビジョンである「Change the office mirai」の実現と中長期の成長を目指して策定した中期経営計画「Growth Plan」に沿って、サプライ事業を基盤事業、ITソリューション事業を成長事業と位置付け、グループ会社を挙げて重点施策を推進してまいりました。

サプライ事業においては、利益率の高い自社製品の拡販を進めるべく、新規営業活動に注力しました。また、株式会社イコリス及び東海桜井株式会社のグループ会社化により、ITソリューション事業も堅調に推移しました。さらに、年金資産の運用が好転し、退職給付費用減少に伴う販売費及び一般管理費の減少も利益増に繋がりました。

これらの結果、売上高は18,109,789千円(前連結会計年度比2.8%増)、営業利益は383,413千円(前連結会計年度比6.1%増)、経常利益は488,746千円(前連結会計年度比4.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は345,327千円(前連結会計年度比11.3%増)となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

(サプライ事業)

自社製品及び商品の拡販が堅調に推移したことにより、前年同期比で増収増益となりました。

これらの結果、売上高は14,367,089千円(前連結会計年度比1.3%増)、セグメント利益は813,861千円(前連結会計年度比2.5%増)となりました。

(ITソリューション事業)

2024年2月に新しくグループインした、スキヤニングサービスなどを展開する東海桜井株式会社が、ITソリューション事業の伸長に貢献しました。また、株式会社イコリスのデジタルマーケティングを活かしたEC事業の成長もあり、売上・利益が増加しました。

これらの結果、売上高は3,742,700千円(前連結会計年度比9.0%増)、セグメント利益は140,511千円(前連結会計年度比9.7%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(イ) 資産

当連結会計年度末における総資産は前連結会計年度末に比べ413,646千円増加し、8,866,585千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ274,147千円増加し、5,752,993千円となりました。これは、主に売掛金が63,376千円、商品及び製品が137,056千円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ139,499千円増加し、3,113,592千円となりました。これは、有形固定資産が9,657千円、投資その他の資産が128,892千円増加したこと等によります。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ54,729千円増加し、4,168,032千円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が174,535千円増加し、電子記録債務が72,193千円、未払法人税等が44,205千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ24,423千円増加し、487,974千円となりました。これは、主に繰延税金負債が24,369千円、役員退職慰労引当金が15,218千円増加し、長期借入金が10,672千円減少したこと等によります。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ334,494千円増加し、4,210,578千円となりました。これは、主に利益剰余金が261,074千円、その他有価証券評価差額金が64,481千円増加したこと等によります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ6,745千円増加の1,888,917千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は282,793千円となりました。収入の主な要因は、税金等調整前当期純利益529,361千円であり、支出の主な要因は、投資有価証券売却益40,130千円、棚卸資産の増加額106,439千円等であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は143,747千円となりました。収入の主な要因は、投資有価証券の売却による収入63,194千円であり、支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出59,875千円、無形固定資産の取得による支出76,244千円等であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は132,300千円となりました。収入の主な要因は、長期借入による収入30,000千円であり、支出の主な要因は、長期借入金の返済による支出97,775千円、配当金の支払額84,247千円等であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期
自己資本比率 (%)	37.0	40.3	43.2	45.9	47.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	22.7	26.0	24.3	36.6	36.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	241.8	242.2	—	224.0	318.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	68.4	71.9	—	72.2	45.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

※有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあって引き続き緩やかな回復の動きが期待される一方で、資源価格の高騰や物価上昇等の影響により、先行き不透明な状況が続くことが懸念されております。

このような状況の中、グループビジョンとして掲げる「Change the office mirai」の実現に向け、当社グループは2025年8月期から2027年8月期までの3ヵ年の新中期経営計画「Growth Plan 2027」を本日公表いたしました。基盤事業であるリサイクルトナーや文具事務用品などのサプライ事業の堅守、及び成長事業である顧客のDX推進を支援するITソリューション事業の拡大をグループ一丸となって進めるべく、新中期経営計画の基本方針として「顧客基盤の活用と強化」、「事業ポートフォリオの転換」の2つを掲げ、力強い成長を目指して取り組んでまいります。

サプライ事業においては、自社ECサイト「YORIDORI」をプラットフォームとした新たな顧客参画型のリサイクルトナー循環システム「サステナブルパートナープログラム」の提案活動に注力し、さらなる拡販に努めてまいります。成長事業と位置付けるITソリューション事業においては、複合機販売を起点とした提案型ビジネスへの注力に加えて、デジタルマーケティングを駆使したEC事業の拡大を進めてまいります。また、当社グループの事業価値でもあるサステナビリティへの取り組みについては、サステナビリティ基本方針として「事業活動と経営戦略の中心にSDGsの理念を据えて持続可能な社会の実現に貢献してまいります」と定め、重要課題（マテリアリティ）を「環境貢献」「DX」「人材育成・ダイバーシティ」「経営基盤強化」と特定しております。今後も当社グループは、経営環境の変化に迅速に対応しつつ、企業価値向上に邁進するとともに、経営資源の最適な配分を行い、コーポレートガバナンスの強化と持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

上記の取り組みを推進することで、2024年8月期における通期連結業績は、売上高18,600百万円(前期比2.7%増)、営業利益400百万円(前期比4.3%増)、経常利益490百万円(前期比0.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益320百万円(前期比7.3%減)を見込んでおります。

引き続き需給動向を注視し、業績に影響が見込まれる場合は、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、将来のIFRS(国際財務報告基準)適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月20日)	当連結会計年度 (2024年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,236,463	2,262,092
受取手形	250,745	284,646
売掛金	2,237,013	2,300,389
商品及び製品	538,126	675,182
仕掛品	269	—
原材料及び貯蔵品	134,711	115,786
その他	81,975	116,709
貸倒引当金	△457	△1,813
流動資産合計	5,478,845	5,752,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,314,449	1,360,993
減価償却累計額	△966,227	△996,820
建物及び構築物（純額）	348,221	364,173
機械装置及び運搬具	227,419	230,283
減価償却累計額	△180,802	△193,491
機械装置及び運搬具（純額）	46,616	36,792
土地	1,150,441	1,150,441
その他	321,019	316,992
減価償却累計額	△280,963	△273,405
その他（純額）	40,056	43,586
有形固定資産合計	1,585,336	1,594,993
無形固定資産		
のれん	240,836	193,779
ソフトウェア	23,146	130,446
その他	80,568	21,274
無形固定資産合計	344,551	345,501
投資その他の資産		
投資有価証券	533,127	619,015
退職給付に係る資産	186,735	197,681
繰延税金資産	10,962	10,004
保険積立金	100,373	106,155
その他	214,191	241,373
貸倒引当金	△1,185	△1,132
投資その他の資産合計	1,044,205	1,173,097
固定資産合計	2,974,092	3,113,592
資産合計	8,452,938	8,866,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月20日)	当連結会計年度 (2024年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,369,461	1,543,996
電子記録債務	1,216,861	1,144,667
短期借入金	853,300	852,666
未払法人税等	127,121	82,915
賞与引当金	79,996	78,604
役員賞与引当金	25,932	15,720
株主優待引当金	12,983	17,306
その他	427,646	432,155
流動負債合計	4,113,303	4,168,032
固定負債		
長期借入金	55,100	44,428
繰延税金負債	51,236	75,606
役員退職慰労引当金	22,428	37,647
退職給付に係る負債	138,179	143,923
資産除去債務	1,889	1,920
その他	194,717	184,449
固定負債合計	463,551	487,974
負債合計	4,576,854	4,656,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	664,355	667,210
利益剰余金	2,881,219	3,142,294
自己株式	△109,873	△103,790
株主資本合計	3,730,376	4,000,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,708	210,189
その他の包括利益累計額合計	145,708	210,189
純資産合計	3,876,084	4,210,578
負債純資産合計	8,452,938	8,866,585

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月21日 至 2023年8月20日)	当連結会計年度 (自 2023年8月21日 至 2024年8月20日)
売上高	17,611,835	18,109,789
売上原価	13,628,076	13,872,627
売上総利益	3,983,759	4,237,162
販売費及び一般管理費	3,622,398	3,853,749
営業利益	361,360	383,413
営業外収益		
受取利息	204	288
受取配当金	19,309	25,256
仕入割引	44,869	41,354
受取家賃	47,659	45,150
その他	10,303	9,053
営業外収益合計	122,346	121,103
営業外費用		
支払利息	5,591	6,213
不動産管理費	10,350	8,953
その他	805	604
営業外費用合計	16,748	15,771
経常利益	466,958	488,746
特別利益		
保険解約益	8,830	—
投資有価証券売却益	35,658	40,130
その他	—	804
特別利益合計	44,489	40,935
特別損失		
固定資産除却損	163	242
保険解約損	—	77
特別損失合計	163	319
税金等調整前当期純利益	511,284	529,361
法人税、住民税及び事業税	212,977	188,138
法人税等調整額	△11,886	△4,103
法人税等合計	201,090	184,034
当期純利益	310,193	345,327
親会社株主に帰属する当期純利益	310,193	345,327

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月21日 至 2023年8月20日)	当連結会計年度 (自 2023年8月21日 至 2024年8月20日)
当期純利益	310,193	345,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,549	64,481
その他の包括利益合計	52,549	64,481
包括利益	362,742	409,808
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	362,742	409,808

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年8月21日 至 2023年8月20日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	294,675	664,649	2,687,277	△121,231	3,525,369	93,158	93,158	3,618,528
当期変動額								
剰余金の配当			△116,250		△116,250			△116,250
親会社株主に帰属する 当期純利益			310,193		310,193			310,193
自己株式の処分		△294		11,358	11,063			11,063
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						52,549	52,549	52,549
当期変動額合計	—	△294	193,942	11,358	205,006	52,549	52,549	257,555
当期末残高	294,675	664,355	2,881,219	△109,873	3,730,376	145,708	145,708	3,876,084

当連結会計年度(自 2023年8月21日 至 2024年8月20日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	294,675	664,355	2,881,219	△109,873	3,730,376	145,708	145,708	3,876,084
当期変動額								
剰余金の配当			△84,253		△84,253			△84,253
親会社株主に帰属する 当期純利益			345,327		345,327			345,327
自己株式の処分		2,855		6,083	8,938			8,938
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						64,481	64,481	64,481
当期変動額合計	—	2,855	261,074	6,083	270,013	64,481	64,481	334,494
当期末残高	294,675	667,210	3,142,294	△103,790	4,000,389	210,189	210,189	4,210,578

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月21日 至 2023年8月20日)	当連結会計年度 (自 2023年8月21日 至 2024年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	511,284	529,361
減価償却費	74,735	88,018
のれん償却額	47,057	47,057
株式報酬費用	11,304	9,469
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	197	542
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,568	5,218
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,262	△10,212
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,898	△2,944
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	12,983	4,323
受取利息及び受取配当金	△19,514	△25,545
支払利息	5,591	6,213
固定資産除却損	163	242
保険解約損益 (△は益)	△8,830	77
投資有価証券売却損益 (△は益)	△35,658	△40,130
売上債権の増減額 (△は増加)	△34,155	△32,466
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,095	△106,439
仕入債務の増減額 (△は減少)	△59,154	70,729
その他	88,703	△48,468
小計	579,542	495,046
利息及び配当金の受取額	19,514	25,545
利息の支払額	△5,612	△6,193
法人税等の支払額	△187,945	△231,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	405,498	282,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,651	△11,000
定期預金の払戻による収入	7,800	8,600
有形固定資産の取得による支出	△16,719	△59,875
無形固定資産の取得による支出	△78,111	△76,244
投資有価証券の取得による支出	△35,889	△13,696
投資有価証券の売却による収入	77,967	63,194
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△29,894
差入保証金の差入による支出	△20,264	△17,367
差入保証金の回収による収入	7,959	1,416
保険積立金の積立による支出	△3,704	△2,422
保険積立金の解約による収入	22,431	2,577
長期前払費用の取得による支出	△2,516	△6,660
その他	2,344	△2,373
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,353	△143,747

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月21日 至 2023年8月20日)	当連結会計年度 (自 2023年8月21日 至 2024年8月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△180,000	20,000
長期借入れによる収入	50,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△99,180	△97,775
配当金の支払額	△116,218	△84,247
その他	—	△278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△345,398	△132,300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,746	6,745
現金及び現金同等物の期首残高	1,868,425	1,882,172
現金及び現金同等物の期末残高	1,882,172	1,888,917

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「サプライ事業」は、リサイクル商品、OAサプライ商品、文具事務用品などのオフィス関連商品、オフィス家具の販売を行っております。「ITソリューション事業」は、PC、ソフトウェアを含むDX推進を支援する商品、複合機、ネットワーク関連商品の販売等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年8月21日 至 2023年8月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	サプライ事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	14,177,039	3,434,795	17,611,835	—	17,611,835
外部顧客への売上高	14,177,039	3,434,795	17,611,835	—	17,611,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	129,750	125,489	255,240	△255,240	—
計	14,306,790	3,560,285	17,867,076	△255,240	17,611,835
セグメント利益	794,163	128,062	922,226	△560,865	361,360
その他の項目					
減価償却費	44,333	8,809	53,143	21,592	74,735
のれん償却額	5,696	41,360	47,057	—	47,057

(注)1 セグメント利益の調整額△560,865千円は、セグメント間取引消去26,226千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△587,092千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「調整額」の区分の「減価償却費」は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

4 セグメント資産については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載していません。

当連結会計年度(自 2023年8月21日 至 2024年8月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	サプライ事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	14,367,089	3,742,700	18,109,789	—	18,109,789
外部顧客への売上高	14,367,089	3,742,700	18,109,789	—	18,109,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,822	185,448	233,270	△233,270	—
計	14,414,911	3,928,148	18,343,060	△233,270	18,109,789
セグメント利益	813,861	140,511	954,372	△570,959	383,413
その他の項目					
減価償却費	55,283	8,348	63,631	24,386	88,018
のれん償却額	5,696	41,360	47,057	—	47,057

(注)1 セグメント利益の調整額△570,959千円は、セグメント間取引消去27,316千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△598,275千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「調整額」の区分の「減価償却費」は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

4 セグメント資産については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年8月21日 至 2023年8月20日)	当連結会計年度 (自 2023年8月21日 至 2024年8月20日)
1株当たり純資産額	714円20銭	773円47銭
1株当たり当期純利益	57円26銭	63円50銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2023年8月20日)	当連結会計年度 (2024年8月20日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計金額(千円)	3,876,084	4,210,578
普通株式に係る純資産額(千円)	3,876,084	4,210,578
普通株式の発行済株式数(株)	5,725,000	5,725,000
普通株式の自己株式数(株)	297,866	281,313
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	5,427,134	5,443,687

2 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度 (自 2022年8月21日 至 2023年8月20日)	当連結会計年度 (自 2023年8月21日 至 2024年8月20日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	310,193	345,327
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	310,193	345,327
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	5,416,804	5,438,169

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(役員の変動)

役員の変動につきましては、本日公表の「役員の変動に関するお知らせ」をご覧ください。